

子ども・若者サポーターズ養成講座 日程表

各日	9:30～9:50	受付開始
	9:50～10:00	オリエンテーション
6月16日(日) 日立システムズホール仙台 研修室2		
①	10:00～12:00	「人権についてーヒトの生態特性から考えるー」 東北学院大学・宮城教育大学 非常勤講師 三條 秀夫
②	13:00～15:00	子ども・若者が巻き込まれる被害について 弁護士(弁護士法人青葉法律事務所) 花島 伸行
③	15:15～17:15	インターネット・SNS利用について 弁護士(弁護士法人青葉法律事務所) 花島 伸行
6月23日(日) 日立システムズホール仙台 研修室2		
④	10:00～12:00	子ども・若者の現状と課題 NPO法人チャイルドラインみやぎ 代表理事 小林 純子
⑤	13:00～15:00	性に関する基礎知識 NPO法人ハーティ仙台 代表理事・助産師 八幡 悦子
⑥	15:15～17:15	子どもの権利・アドボカシーについて NPO法人チャイルドラインみやぎ 代表理事 小林 純子
6月29日(土) 日立システムズホール仙台 研修室1		
⑦	10:00～12:00	児童相談所の役割について・社会的養護の現状 宮城県中央児童相談所 高橋 美由紀
⑧	13:00～15:00	LGBTQに関する基礎知識と対応について NPO法人ハーティ仙台 代表理事・助産師 八幡 悦子
⑨	15:15～17:15	社会的養護・アフターケア事業について NPO法人チャイルドラインみやぎ 代表理事 小林 純子
6月30日(日) 日立システムズホール仙台 研修室1		
⑩	10:00～12:00	発達障害のある子どもへの理解と対応 宮城学院女子大学 教授 梅田 真理
⑪	13:00～15:00	チャイルドラインのオンラインチャットについて NPO法人チャイルドラインみやぎ 事務局長 藤石 伸子
⑫	15:15～17:15	オンラインチャットデモンストレーション NPO法人チャイルドラインみやぎ 事務局長 藤石 伸子
7月7日(日) 日立システムズホール仙台 研修室2		
⑬	10:00～12:00	虐待が及ぼす影響と私たちにできる支援 仙台市夜間休日子ども急病診療所所長・東北会病院副院長 村田 祐二
⑭	13:00～15:00	こころの声を聴くこと NPO法人チャイルドラインみやぎ 支え手 北條 久也
⑮	15:15～17:15	今後の活動について NPO法人チャイルドラインみやぎ 代表理事 小林 純子

※各日9:30から受付を行いますので、余裕をもっておいでください。

※諸事情により、講座内容・実施形態などが変更になる場合があります。

※定員に達した場合、全講座受講の方を優先とさせていただきます。

※全講座受講希望ではあるが、どうしてもご都合がつかないご事情がある場合は申込フォーム連絡事項欄に、受講できない講座番号と理由などを記載してお送りください。折り返し事務局より連絡をさしあげます。

特定非営利活動法人チャイルドラインみやぎ事務局

〒981-0954 仙台市青葉区川平1-16-5 スカイハイツ102

TEL&FAX 022-279-7210 HP <http://cl-miyagi.org>

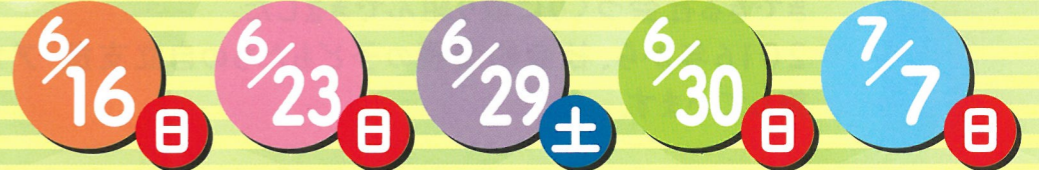
Eメール clmiyagi@gmail.com ホームページは [こちら](#)



子ども・若者 サポーターズ養成講座



日程/2024年



会場

日立システムズホール仙台

宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘3丁目27-5
電話: 022-276-2110

参加費

無料

お申し込みはこちらから ▶



主催/特定非営利活動法人チャイルドラインみやぎ 後援/仙台市教育委員会

本講座は宮城県・仙台市社会的養護自立支援拠点事業として実施

今、子どもたちは… 知っていますか?こんな数字

- 全国で**1日1,800**人以上の子どもがいじめにあっています。
- **5**日に**1**人の割合で虐待によって死亡しています。
- **1**日**1**人以上の子どもが自分で命を絶っています。
- 不登校は年間約**420,000**人以上になりました。
- 約**42,000**人の子どもたちが虐待によって親と暮らすことができず施設や里親のもとで暮らしています。



- 宮城県では、児童生徒**1,000**人当たりのいじめ発生率は全国平均の約**1.2**倍で全国**11**位となっています。
- 暴力行為の発生率は全国**11**位、不登校の発生率が小中学校は全国**6**位、高校は全国**3**位です。
- 高校の中途退学発生率も全国**6**位です。

※「令和4年度児童生徒の問題行動、不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査結果」(文部科学省)「子ども虐待による死亡事故例等の検証結果等について」及び「施設入所児童の推移」(こども家庭庁)をもとに作成

チャイルドラインみやぎは

イギリスの虐待防止電話「チャイルドライン」をモデルに、いじめや虐待に苦しむ子どもたちの声を聴くために、2001年に設立しました。「子どものことは子どもに聞こう」をモットーに、「子どもの権利」を大切に子どもが生き生きできる社会づくりに取り組んできました。

2016年から、社会的養護の子どもたちの自立支援・アフターケア事業を実施しています。

こども家庭庁ができ、子ども・若者への支援策がいろいろ出されるようになりました。しかし、今の子ども・若者をサポートするのに、人も資金も足りません!みなさんの力をかしてください。

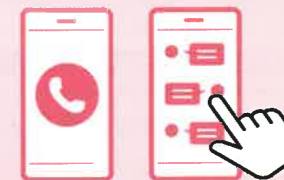


子ども・若者サポーターの活動

「子ども・若者サポーターズ養成講座」を受ける

修了後、現場研修や見学などを行う

- チャイルドラインの現場で、こども・若者からの電話やチャット対応で子どもの声を聴くトレーニングを行う。



職員と共に、下記のようなボランティア活動を行なう

- 子ども・若者対象の講習会やイベントの企画・運営
- 子ども・若者の自立に向けての支援活動(相談・同行・生活支援など)
- 広報活動(ホームページや会報を通して子ども・若者の現状を社会に伝える)
- 就労支援活動
(就労先の開拓・就労訓練付き添いなど)
- 資金・物品調達活動
(困難を抱える子ども・若者を支える資金や物品を調達する)



活動に際しては……

- 個人情報の保護等に御協力ください。
- 当団体の規定により必要な交通費等をおわたしします。
- 傷害保険、賠償責任保険で万が一に備えています。

